

《 コラム 》 Vol.53

ゴルフの珍事（その1）動物編

今回はノビサックとは全く関係のないゴルフのお話です。  
ゴルフを知らない方でも面白いと思いますので暫しお付き合いを。

海外赴任したとき（特に単身の時）、休日の過ごし方に困ります。  
日本にいる時と違い出来る事が限られますので、暇な時間が増えます。  
暇でしょうがなく、ゴルフを始める人も多いみたいです。  
そんなわけで、皆さん初心者同士でにぎやかなゴルフを楽しんでおります。  
ゴルフはピンポン玉くらいのボールを、数百メートル先にある直径10センチくらい  
の小さな穴っポコに入れるという、とんでもねえ難いスポーツです。  
これからのお話は実際に起こったゴルフ場での珍事です。

まずはマレーシアでの出来事。  
その日は仕事で知り合ったご夫婦と一緒にしました。  
奥さんはド近眼で、いつもは眼鏡をしてプレーしていますが、その日はたまたま  
眼鏡もコンタクトレンズも忘れてしまい、ボールがどこに飛んだか全然見えない  
状態でした。  
奥さんが打つ時には、旦那さんがボールの行方を見ていて「あの辺にとんでいっ  
たよ～」と、教えてあげるような感じでした。

たまたま奥さんがミスショットして、ボールが草むらに入ってしまったときの  
ことです。  
旦那さんが「その草むらの、あの辺りに入って行ったよ～」と教えてあげると、  
奥さんはそそくさと草むらに入ったボールを探しに行きました。  
ボールを探していると、しゃもじ状の変った植物がニョキっと一本出ている  
ではありませんか。  
「南国の珍しい植物かな～？」と思って、近づいてよ～く見てみた次の瞬間、  
「ギャーッ！！！」と、叫びながら草むらから逃げてきました。  
その変わった植物、なんと威嚇している コブラ でした！  
幸いにも攻撃されることはなく奥さんは無事でした。  
（たぶん当のコブラの方がビックリしたと思います。）  
その後、泣く泣く草むらに入ったボールは諦めることに。  
左腕にサイコガンが欲しい・・・と思う出来事でした。（昭和かよっ！）

次は知人が体験したブラジルでの出来事。

だだっ広い芝生の上で知人がゴルフボールを打とうとした時、50m くらい先に何やら大きな動物がゆ〜っくりと歩いているのが目に入りました。

ナマケモノ でした。

その歩く遅さはまさにスローモーション。(中森明菜が目浮かびます。)

とてもじれったいので、「打つよ〜っ！」とナマケモノに声をかけ、

まさか当たるはずもないと思い、こん身の一打。

と、なんと打ったボールはナマケモノへ一直線！

そしてナマケモノの頭にパッカーンと当り、ボールは明後日の方向へ。

ナマケモノはその場で倒れ、ピクリとも動きません。

ゴルフは紳士のスポーツ、ボールの行方よりもナマケモノの方が心配です。

「逝ってしまったか・・・」と恐る恐る近づいてみると・・・。

ナマケモノはむくッと起き上がり、またさっきと同じように歩きはじめました。

どうやら軽い脳震盪を起していたらしいです。

何事もなく良かったです、ボールは行方不明になりました。

ナマケモノは痛みを感じることも怠けている？と思う出来事でした。

## そしてマレーシアでの出来事 Part2

会社の上司と一緒にゴルフカートに乗ってプレーしていた時のこと。

南国は暑いので、よくカート(移動用の自動車)に乗ってプレーします。

その時はたまたま上司がカートを運転していて、私が助手席に。

川を渡る橋があり、その橋までは上り坂になっていました。

その時のカートはあまりパワーが無かったので、上司は目一杯にアクセルを踏み込みます。

そして橋に乗りかかろうとした瞬間、上司が急ブレーキを掛けました。

身体が思わず前のめりに！

「どうしたんですか!？」と上司を見ると、カートの前を指先しています。

そこにはなんと1メートルを優に超える水オオトカゲが！

たぶん水オオトカゲもビックリしたことでしょう。

その後は急いで草むらの中に逃げて行きました。

水オオトカゲが逃げて行ってもカートが動きません。

不思議に思い上司を見ると苦悶の表情。

「どうしたんですか!？」と二度目の同じ質問。

「足、つったーッ!!!」

よく見ると上司の足はブレーキを踏んだまま、バレリーナのようにピンと伸びております。

そして上司の額にはたくさんの脂汗が。  
なんとかつった足を元に戻して事なきことに。

普段は絶対に見ることが出来ない上司の苦悶の表情。  
上司には気の毒でしたが、心の中の悪魔が微笑んでおります。  
「でかしたぜ！ 水オオトカゲ！」

話が長くなりますので、今回はこの辺で。